



E950 ユーザーマニュアル

リリース v1.0.0

2026-06-27

目次

1 システム設定	4
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り	4
1.2 工場出荷時設定にリセット	4
1.3 作業モード	5
2 電源管理	6
2.1 睡眠時間を読む	6
2.2 睡眠時間を設定する	6
2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する	8
3 情報プロンプト	8
3.1 ブザー制御	8
3.2 振動モーター制御	9
3.3 ブザー音の定義	10
3.4 インジケータライトの定義	10
4 有線モード	11
4.1 USB 送信方法	11
4.2 USB キーボードの送信速度	12
4.3 USB HID マルチキー送信設定	13
5 ワイヤレスモード	13
5.1 インターフェイス設定の読み取り	13
5.2 無線伝送方式	14
5.3 2.4G ペアリング	14
5.4 受信機の動作モード	14
5.5 2.4G 送信キャッシュ	16
6 藍牙モード	17
6.1 インターフェイス設定の読み取り	17
6.2 藍牙送信方法	17
6.3 藍牙動作モード	18
6.4 藍牙名の変更	18
6.5 藍牙 HID ペアリングをクリアする	19
6.6 システムキーボードの機能	19
6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。	20
6.8 藍牙キーボードの送信速度	20
6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない	21
7 キーボード設定	22
7.1 HID Keyboard General Setting	22
7.2 キーボードの言語設定	29
8 キーボード言語	29
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る	29
9 データ編集	35
9.1 標準データ編集設定	35
9.2 拡張データ編集設定	42
9.3 端末文字設定	44

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定	45
10 読書モード	46
10.1 バーコードデコード読み取りモード	46
11 MOD の設定	48
11.1 エンジン Code ID	48
11.2 エンジン出力フォーマット	51
11.3 トリガー設定	52
11.4 イメージングパラメータ	60
11.5 バーコード設定	78
11.6 エンジンキャラクターテーブル	122
11.7 エンジンセッティングコード	123
12 付録	126
12.1 文字検索テーブル	126

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り



ファームウェアバージョンの読み取り

1.2 工場出荷時設定にリセット

注釈

「カスタムデフォルトの書き込み」が実行されている場合、「デフォルトの復元」はそれらのカスタムデフォルトを復元します。それ以外の場合は、工場出荷時のデフォルト値が復元されます。

重要

「工場出荷時のデフォルトに設定」は、すべてのカスタムデフォルトをクリアし、工場出荷時のデフォルトに戻します。



カスタムデフォルトを復元する



カスタムのデフォルト値を書き込む



工場出荷時のデフォルトを設定する

1.3 作業モード

i 注釈

データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

i 注釈

無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。



* 通常モード



ストレージモード



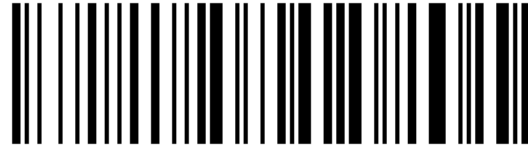
ストレージデータのアップロード



保存されているバーコードの総数を読み取ります



アップロード後にストレージデータをクリアする



ストレージスペースの使用状況を読み取る



保存されたバーコードをクリアする



* 自動ストレージモードが無効になっています



自動ストレージモードが有効になっています

2 電源管理

2.1 睡眠時間を読む



睡眠時間を読む

2.2 睡眠時間を設定する



今すぐ冬眠します



1 分後に寝る



3 分後にスリープ (デフォルト)



5 分後に寝る



10 分後に寝る



30 分後に寝る



1 時間後に寝る



2 時間後に寝る



決して眠らないでください

2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する



バッテリー残量を取得する

3 情報プロンプト

3.1 ブザー制御



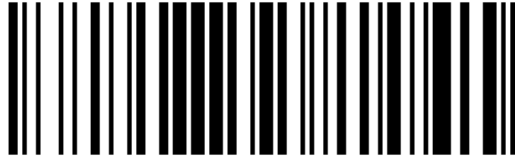
ミュート



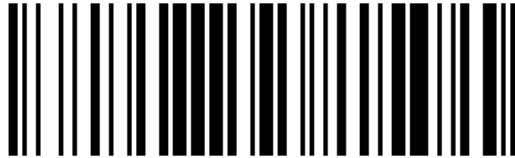
* 大音量



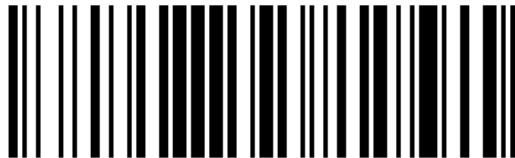
中程度の音量



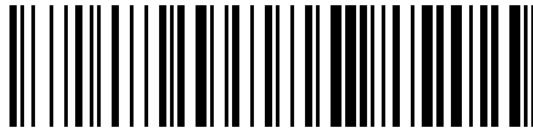
小さい音量



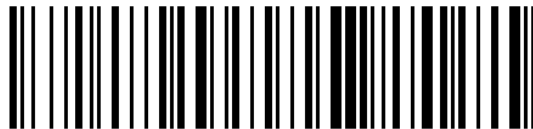
* 高音



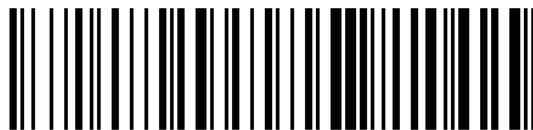
低音



* SDK 音声応答が無効になっています



SDK 音声応答の有効化

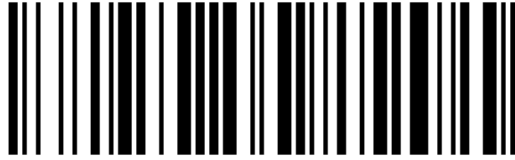


ベース接続ブザープロンプトスイッチ

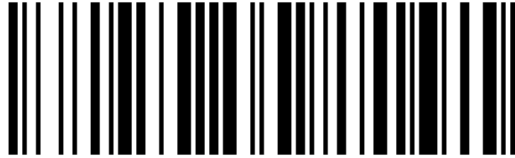
3.2 振動モーター制御

注釈

振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。



無効にする



有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	音声ファイル
ビープ	ワントーン (ツートーン)	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	storage-mode.m4a、shutdown.m4a
ビープ	1 音 (3 音)	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	startup.m4a、wireless-setting.m4a
ビープ	短い音 (同じ音)	バーコード読み取り成功プロンプト。	one-beeps.m4a
ビープ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン (同トーン)	読み取り中の電力不足アラーム。	two-beeps.m4a
アラーム音	3 音 (同音)	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音 (同音)	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	five-beeps.m4a

3.4 インジケータライトの定義

インジケータライト	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。蓝牙モードをサポートするモデルは、蓝牙接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

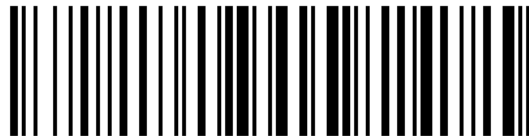
注釈

有線伝送をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

4.1 USB 送信方法



* USB キーボードモード



USB 仮想串口モード

注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、コード読み取りデバイスは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です



有線/無線自動選択無効

4.2 USB キーボードの送信速度

注釈

この設定は、RF、超長いバーコードの蓝牙送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。



* 最高速度



トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度



キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

i 注釈

このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。



USB HID マルチキー送信有効



* USB HID マルチキー送信は無効です

5 ワイヤレスモード

i 注釈

2.4G 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

5.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

5.2 無線伝送方式

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが2.4GモードまたはUSB有線モードであることを示します。



2.4G 送信モード

5.3 2.4G ペアリング

重要

ワイヤレス 2.4G モードでのみ有効です。



2.4G ペアリングを開始します



1 対 1 のペアリング



1 対 1 のペアリング

5.4 受信機の動作モード

注釈

コンポジットデバイスモードは、FWVerL 以降の受信機でのみ使用できます。
ReceiverAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成し、それをスキャンしてペアリングを完了することもできます。



複合デバイスとしての受信機



仮想シリアルポートとしてのレシーバー

i 注釈

このモードでは、仮想シリアルポートドライバをインストールする必要があります。



キーボードとしての受信機

受信機キーボードの通信速度

i 注釈

このセクションの手順は、FWVerL 以降の受信機にのみ適用されます。コード読み取りデバイスと受信機の送信速度が一致している必要があります。一致しないと、長いバーコードを送信するときにエラーが発生する可能性があります。

ii 重要

このコマンドはワイヤレス 2.4G モードでのみ有効で、受信機は正常に接続されています。



キーボードの読み取り速度

i 例

KB SP=2,4 は、USB のキーボード速度が 2ms、受信機のキーボード速度が 4ms であることを意味します。



レシーバーキーボード高速



レシーバーキーボード中速



レシーバーキーボード低速

i 注釈

無線 2.4G モードでのみ有効で、受信側は正常に受信します。

5.5 2.4G 送信キャッシュ

i 注釈

このコマンドは、この機能をサポートする一部のコード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

通常のバーコードをスキャンする場合、バーコードのデータ量が多くスキャン間隔が短く、データのアップロードが間に合わない場合に、この設定コードを使用してデータのキャッシュを有効または無効にすることができます。



SRAM キャッシュスイッチ

通常モードでは、データキャッシュを有効にした後、デバイスが一時的に通信距離を離れてオフライン状態になった場合、この設定を使用して、キャッシュされたデータをアップロードする前に接続を待つか、キャッシュされたデータをクリアするかを選択できます。



オフラインキャッシュスイッチ

6 藍牙モード

注釈

藍牙機能を備えた RF+BT コード読み取り装置にのみ適用されます。

6.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

6.2 藍牙送信方法

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



藍牙送信

6.3 藍牙動作モード

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。

i 注釈

藍牙動作モードを切り替える前に、ホストとコード読み取りデバイスの両端のペアリング情報をクリアする必要があります。



藍牙 HID キーボード (デフォルト)



藍牙 SPP シリアルポート



藍牙 BLE シリアルポート



藍牙基本送信モード

i 注釈

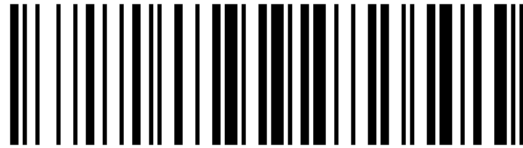
すでにペアリングされている藍牙ベースとのペアリングに適しています。ベースのバーコードが破損している場合は、小さなツール BluetoothAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成することもできます。

6.4 藍牙名の変更

新しい藍牙名を入力したら、生成された QR コードをスキャンして設定を完了します。ホストが変更後に古いペアリング記録を保存している場合は、まず古いペアリングを削除して、接続を再度検索してください。

6.5 藍牙 HID ペアリングをクリアする

藍牙送信モードで「ペアリングのクリア」をスキャンした後、コード読み取りデバイスは現在ペアリングされているデバイスを切断し、ペアリングリストをクリアしてから、新しいデバイスのペアリングを待ちます。過去にペアリングしたデバイスを削除し、再度ペアリングする必要があります。



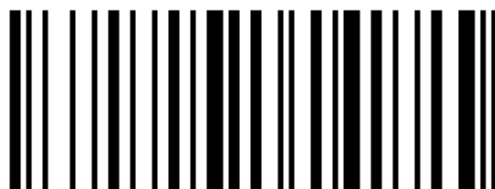
藍牙ペアリングをクリアする

6.6 システムキーボードの機能

iOS システムのポップアップキーボード機能



iOS キーボードのポップアップ/非表示



トリガーボタンを 4 秒間長押しすると、iOS キーボードスイッチがポップアップします。



トリガーボタンをダブルクリックして、iOS キーボードスイッチをポップアップ表示します。



送信後に iOS キーボードスイッチをポップアップ表示する

Windows Caps Lock の検出

i 注釈

このコマンドは、一部の藍牙コード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



Windows Caps Lock 検出スイッチ

6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。

i 注釈

このコマンドは一部の RF+BT コード読み取りデバイス (DS、C、RT) にのみ適用されます。有効にした後、トリガーボタンを 8 秒以上押し続け、放すと RF/BT が切り替わります。16 秒以上押し続けると、コード読み取り装置がシャットダウンし、モードは切り替わりません。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

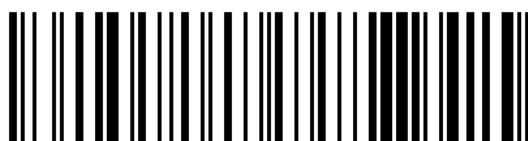


トリガーボタンを 8 秒間押し続けると、RF/BT スイッチが切り替わります。

6.8 藍牙キーボードの送信速度

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。



藍牙 HID 遅延の読み取り



高速 (2ms)



高速 (6ms)



* 中速 (10 ミリ秒)



中速 (18ms)



低速 (25ms)



低速 (30ms)

6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない

注釈

設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



藍牙接続ステータス非スリープスイッチ

7 キーボード設定

7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

注釈

このセクションの一般的な HID モード設定は、USB キーボード、RF2.4G キーボード、BT HID キーボードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定



* 結合キーオフ



Ctrl+ Key Config1



Alt+ Key Config2



Normal-Key Config3



Ctrl+ Key Config4



Alt+ Key Config5

i 注釈

only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定



普通



スワップケース



すべて大文字



すべて小文字

※ キーボード言語を ALT、TH に設定した場合、大文字と小文字の設定は適用されません。

Num Lock の設定



Num Lock が無効になりました



Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

文字セット設定を入力します

i 注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D コード読み取りデバイスにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。



現在の文字セット設定を読み取る



自動



GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS



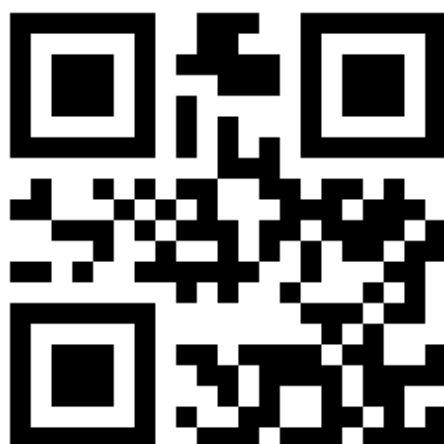
ISO/IEC 8859



UTF8 (ワード)



UTF8 (送信)



ノーマルモード

例証します:

モデル	該当するシナリオ	コード読み取りモジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

受信デバイスの選択

注釈

このセクションは、さまざまな受信デバイスが ASCII 文字 (0x20 から 0x7F) を入力する方法を設定するために使用され、[鍵盤言語設定](#) と組み合わせて使用 する必要があります。



現在の受信デバイス設定を読み取る



Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

➡ 参考

キーボード言語設定は別のページ (鍵盤语言设置) に分割されました。

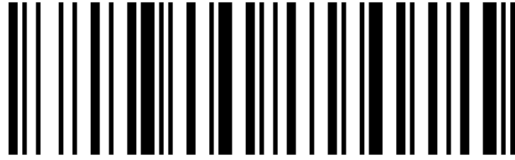
8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る



現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー



* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー



フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー



ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITItaly イタリアキー



イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー



ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー



スペイン語キーボード

L7 TR トウルキエトルコキー



トルコ語 Q キーボード



トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー

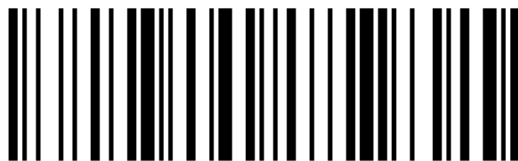


イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー



チェコ語キーボード



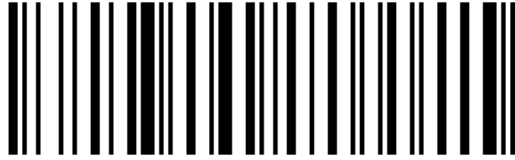
チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー



ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー



ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー



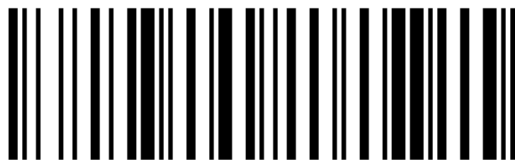
ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー



カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー



クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー



スロバキア語 QWERTY キーボード



スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー



デンマーク語キーボード

L17 FIFINLAND キー



フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー



ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー



オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー



ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー



ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー



セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー



スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー



スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー



スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本語日本語キー

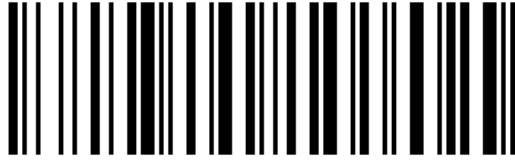


日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

注釈

タイ語キーボードを使用する場合、コード読み取りモジュールも TH 出力に設定する必要があります。



タイ語キーボード

🔄 参考

参照ファイル: RF2.4G、藍牙設置 _ 中文、泰語、韓国.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

i 注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。



ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー



ALT 半角特殊文字キーボード

i 注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

➡ 参考

文字値については、[ASCII ファンクションキー文字比較表](#) および [ASCII 文字比較表](#) を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、[デジタル設定コード](#) をスキャンしてください。具体的な手順については、「[プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ](#)」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ~ FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

➡ 参考

文字を非表示にするプロセスについては、[バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順](#) を参照してください。

オペコード



プレフィックスを追加する



接尾語を追加



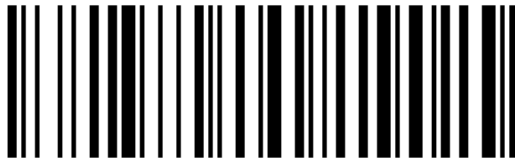
すべてのプレフィックスをクリアする



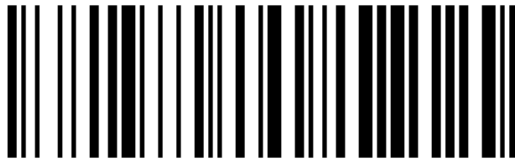
すべてのサフィックスをクリア



最初のバーコードの文字数を非表示にする



バーコード中央の開始桁を非表示にします



バーコードの途中の文字数を非表示にする



バーコードの末尾の文字数を非表示にする

デジタル設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応するデジタル設定コードをスキャンしてください。



デジタル設定コード 0



デジタル設定コード 1



デジタル設定コード 2



デジタル設定コード 3



デジタル設定コード 4



デジタル設定コード 5



デジタル設定コード 6



数値セットアップコード 7



デジタル設定コード 8



数値セットアップコード 9



デジタル設定コード A



デジタル設定コード B



デジタル設定コード C



デジタル設定コード D



デジタル設定コード E



デジタル設定コード F

出力形式の設定

出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。



デフォルトの出力形式



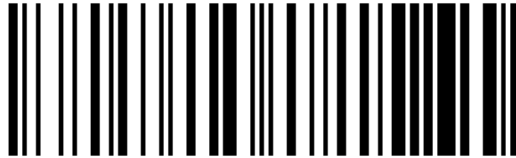
出力サフィックスを許可する



出力プレフィックスを許可する



バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます



バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます



バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は既存のサフィックスに追加されます。元のサフィックスを破棄したい場合は、「すべてのプレフィックス/サフィックスをクリア」をスキャンしてリセットしてください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. [ASCII ファンクションキー文字比較表](#) または [ASCII 文字比較表](#) に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

例

プレフィックスとして **Ctrl+A** を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

例

Ctrl+Alt+A をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。
2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、0、4 をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、0、C をスキャンします)。
3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

注釈

オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

接尾語を追加

バーコード先頭文字を非表示

バーコード中央文字を非表示

バーコード末尾文字を非表示

文字置換

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

```
$DATA#ncllxx#
```

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのコードシステムを示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

xx

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

注文	意味
\$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
\$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
\$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
\$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
\$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
\$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
\$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: \$DATA#70 + 被置換文字長さ + 被置換文字 + 置換後データ長さ + 置換後データ #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1~6 文字が 5~0 文字に置換されることがサポートされます。



置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

例

\$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。



文字置換操作: GS からテキスト GS へ

例

\$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。



文字置換操作: LF から CR

i 例

\$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

i 注釈

この終端文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。



なし (デフォルト)



CR を入力してください



タブ文字 TAB



キャリッジリターンとラインフィード CRLF



改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。



生の形式 (デフォルト)



括弧を追加する



括弧を追加し、CR で区切ります。



括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読書モード

10.1 バーコードデコード読み取りモード



キースキャンモード（デフォルト）



連続スキャンモード

i 注釈

連続スキャンモードは、連続高速スキャンシナリオに適しています。トリガーボタンを押して、開始または停止をトリガーします。



キーパルススキャンモード

i 注釈

キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタマイズモデルにのみ適用）

i 注釈

ホストトリガーモードは一部のカスタマイズモデルにのみ適用されます。



バッチスキャンモード（一部のカスタマイズされたモデルにのみ適用可能）

デコードタイムアウト

このパラメータは、スキャン試行中にデコード処理が継続する最大時間を設定します。デフォルト: 3000ms、範囲: 0500 ~ 9999ms。



3 秒 (デフォルト)



6 秒

インターバル時間

連続モードでの 2 つの読み取り間の間隔。デフォルト: 500ms、範囲: 0100 ~ 9999ms。



0.5 秒 (デフォルト)



1 秒

11 MOD の設定

11.1 エンジン Code ID

デコードデータ形式

パケットフォーマットをデコードする

現在、SSI / SNAPI に関連するデータパケット透過伝送フォーマットの一種が確認されています。

デバイスは、ユーザー定義のパラメータバーコードを通常のデコードデータとしてホストに透過的に送信できます。

- ユーザー定義パラメータのバーコード形式:

```
<FNC3><L><data>
或
<FNC3><B><12 bytes of data>
```

- デコードされたデータ形式:

```
<0xf3><L><data>
或
<0xf3><B><12 bytes of data>
```

このうち、B タイプは、12 バイトデータのみをサポートします。ユーザー定義パラメータのバーコードを正常に読み取ると、デバイスは通常のデコードビープ音を鳴らします。

AIM コード識別子

出力データに AIM Code ID または Extended Code ID が含まれるかどうかを制御するために使用されます。

オプション:

- None、デフォルト値
- AIM Code ID Character
- Extended Code ID Character



* Code ID を出力しません



出力 AIM Code ID



出力拡張 Code ID

このオプションを有効にすると、「プレフィックス」と「デコードされたデータ」の間に Code ID が挿入されます。

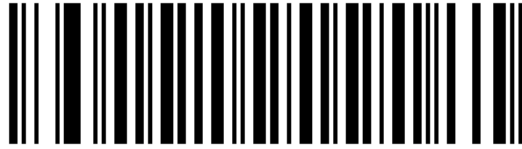
注釈

Transmit "No Read" Message が同時に有効で、AIM Code ID Character または Extended Code ID Character が有効な場合、デバイスは NR メッセージの後に Code 39 のコード ID を追加します。

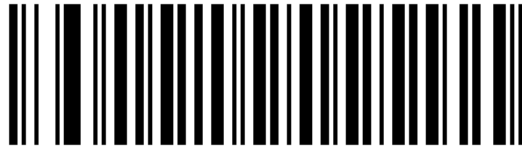
メッセージを読めません

デコードが失敗した場合に、NR をホストに送信するかどうかを制御するために使用されます。

- Enable No Read
- Disable No Read、デフォルト値



未読メッセージを有効にする



* 未読メッセージを無効にする

目標 **Code ID** および **FN1**

Code ID 文字を狙う

参考

このセクションでは主に「AIM Code ID を出力するかどうか」の制御ロジックを扱います。端末固有の **Code ID** 比較表については、「[引擎字符表](#)」を参照してください。

FN1 の置き換え

USB HID keyboard host にのみ適用されます。有効にすると、EAN-128 バーコードの FN1 (0x1b) をユーザーが設定した値に置き換えることができます。

デフォルトの置換値は 7013 で、これは Enter キーです。

ホストコマンドで設定する場合：

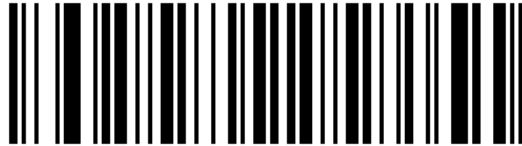
このドキュメントでは、最初に Key Category を 1 に設定し、次に 3 桁のキー値を設定する必要があります。

FN1 置換値テーブル

FN1 置換ターゲット値を設定するために使用されます。

バーコードメニューの設定手順：

1. Set FN1 Substitution Value をスキャン
2. 現在のホストインターフェイスに対応する ASCII 文字テーブルでターゲットボタンを見つけます。
3. 4 桁の ASCII 値をスキャンします。



FN1 置換値を設定します

間違えた場合は、Cancel をスキャンして再入力できます。

11.2 エンジン出力フォーマット

ターミネーターの設定

PL5 には「ターミネーターの設定」という独立した章がありません。ワイヤレスカスタマイズバージョンは、サフィックスプロセスに従って最小構成を保持します。最初に Scan Suffix 1 または Scan Suffix 2 を設定し、次に Prefix/Suffix Values を書き込み、最後にサフィックスを含む Scan Data Transmission Format を選択します。

一般的なターミネータ値:

- 1013: CR / 入力します。
- 7013: Enter。端末または FN1 置換値シナリオで一般的に使用されます。

推奨されるプロセス:

1. Scan Suffix 1 または Scan Suffix 2 をスキャンします。
2. 数値セットアップコードを使用して、1013 または 7013 を入力します。
3. <DATA> <SUFFIX 1>、<DATA> <SUFFIX 2>、または <DATA> <SUFFIX 1> <SUFFIX 2> をスキャンします。
4. サフィックス出力をキャンセルするには、Data As Is をスキャンします。



スキャンサフィックス 1



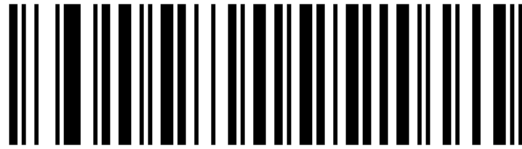
スキャンサフィックス 2



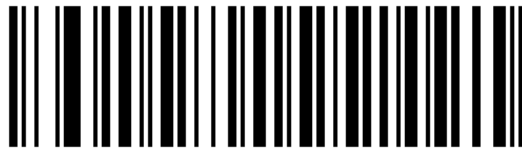
* 現状のままのデータ



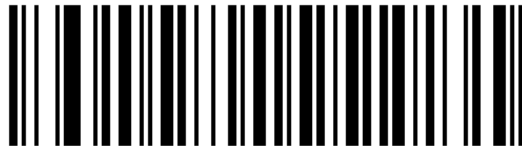
<DATA> <SUFFIX 1>



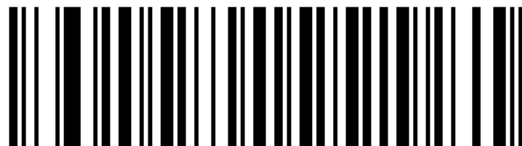
<DATA> <SUFFIX 2>



<DATA> <SUFFIX 1> <SUFFIX 2>



<PREFIX> <DATA> <SUFFIX 1>



<PREFIX> <DATA> <SUFFIX 2>



<PREFIX> <DATA> <SUFFIX 1> <SUFFIX 2>

11.3 トリガー設定

トリガーモード

トリガーモード選択/Trigger Mode

デバイスがデコードを開始するためのトリガー方法を選択するために使用されます。現在、原文から次のオプションが確認されています。

- **Level** トリガーイベントの開始後、トリガーが終了するか、デコードが成功するか、または「デコードセッションタイムアウト」に達するまで、デコードプロセスに入ります。

- **Presentation Mode** デバイスが視野内にターゲットを検出すると、自動的にトリガーされ、デコードが試行されます。このモードはデコードモードでのみ使用でき、ターゲット検出範囲は通常の照明条件下で固定されます。このモードでは、デバイスは低電力モードに入りません。
- **Host** は、ホストコマンドによって送信されるトリガー信号です。実際の物理トリガーは依然として Level 方法で解釈されます。
- **Auto Aim** は、動きが検出されると照準パターンをオンにし、トリガーを引いた後にデコードを開始します。2 秒間操作がない場合、照準パターンは自動的にオフになります。
- **Auto Aim with Illumination** が動きを検出すると、照準パターンと内部照明 LED が同時にオンになります。トリガーを引いた後にデコードが開始されます。2 秒間アクティビティがない場合、照準パターンと照明 LED は自動的にオフになります。



Level



Presentation Mode



Host



Auto Aim



Auto Aim with Illumination

継続的なコード読み取りとタイムアウト

連続コード読み取り

デバイスがトリガー後にバーコードの読み取りを試行し続けるかどうかを制御するために使用されます。

- Disable、デフォルト値
- Enable



* 連続コード読み取りを無効にする



連続コード読み取りを有効にする

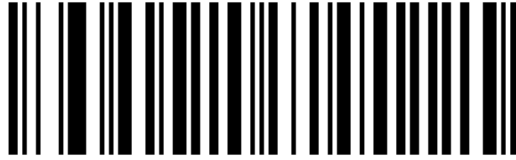
独自のバーコードレポート

連続コード読み取り中に繰り返されるコンテンツのレポート戦略を制御するために使用されます。

- Disable、デフォルト値
- Enable



* 固有のバーコードレポートを無効にする



固有のバーコードレポートを有効にする

低照度のモーション検出

暗い環境で動き検出戦略を調整するために使用されます。

- No Low Light Motion Detection、デフォルト値
- Low Light Motion Detection 1
- Low Light Motion Detection 2



* 低照度の動き検出を無効にする



低照度動作検出レベル 1



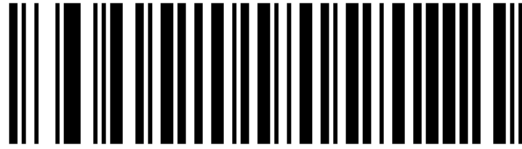
低照度動作検出レベル 2

デモモードビュー

デモンストレーションモードでターゲット検出の視野を調整するために使用します。デフォルト値は Medium Field of View です。対応する設定コードが抽出されています。視野タイプの名前は、その後の校正のために元のテキストに従うものとします。



デモモードの視野オプション 00h



デモモードの視野オプション 01h



デモモードの視野オプション 02h

PDF 優先タイムアウト

PDF Prioritization が有効になった後、視野内の 1 次元コードを報告する前に、デバイスが最初に PDF417 の読み取りを試行するまでの待ち時間を設定するために使用されます。

- 値の範囲: 0 ～5000 ms
- デフォルト値: 200 ms
- 設定方法: 最初に以下の設定コードをスキャンし、次に 4 桁のバーコードをスキャンしてミリ秒値を入力します

たとえば、400 ms に設定されている場合、設定コードをスキャンして、0400 を入力する必要があります。



PDF 優先タイムアウトを設定する

同一符号繰り返し復号間隔

同じバーコードが短時間に繰り返し出力されることを制限するために使用されます。デフォルトのパラメータ表によると、デフォルト値は 0.6 秒です。現在のところ、数値バーコードと組み合わせて特定の間隔値を入力するのに適した独立した設定コードがあることが確認されています。



同一コード繰り返しデコード間隔を設定する

異なるコードの繰り返しデコード間隔

異なるバーコードを連続して読み取る場合の最小間隔を制限するために使用されます。デフォルトのパラメータ表によると、デフォルト値は 0.2 秒です。

- 値の範囲: 0.1 ～9.9 秒
- 入力方法: 下記の設定コードを読み取った後、2 桁のバーコードを読み取ってください



異なるコードの繰り返しデコード間隔を設定する

低消費電力と停止条件

低電力遅延

このパラメータは、デコードが完了した後、デバイスがアクティブな状態を維持する時間を設定するために使用されます。スキャンセッションが終了すると、デバイスは設定された時間待機してから低電力モードに移行します。

注釈

元の説明: このパラメータは、Power Mode が低消費電力モードに設定されている場合にのみ有効です。

低消費電力遅延値テーブル

原文より以下の値が確認されています。

- 1 Second
- 5 Seconds
- 1 Minute
- 5 Minutes
- 15 Minutes
- 1 Hour



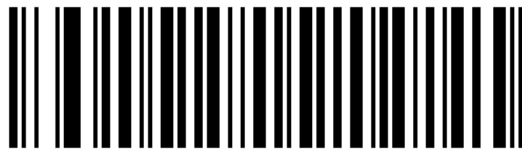
1 秒



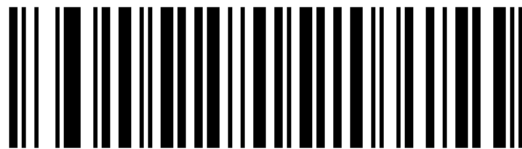
5 秒



1 分



5 分



15 分



1 時間

上記以外の値に設定する必要がある場合、原文では SSI インターフェイスの「SSI で低電力モードへの時間遅延を使用する」メソッドを介してプログラミングする必要があります。

低電力モードスイッチ

ソースページ: ページ 102 Power Mode (Serial Hosts Only)

- Continuous On は、デコード試行後に低電力状態になりません。
- Low Power Mode 「低電力遅延」パラメータを押して、デコード試行後に低電力モードに入ります。



Continuous On



Low Power Mode

ピックアップモード

ターゲットパターンの中央領域の下にあるバーコードのみをデコードするようにデバイスを制限するために使用されます。

- Disabled Always、デフォルト値
- Enabled Always



* 選択リストを常に無効にする



選択リストを常に有効にする

デコードセッションのタイムアウト

単一のデコード試行の最大期間を 0.5 秒から 9.9 秒の範囲で、0.1 秒単位で設定するために使用されます。



デコードセッションのタイムアウトを設定する

ホストのシリアルポート応答タイムアウト

➡ 参考

このパラメータはシリアルポートおよび SSI 通信パラメータに属します。シリアルポートホストモードを直接使用する場合、完全な値と通信手順は、完全な PL5 モジュールマニュアルで確認する必要があります。

ホストキャラクターのタイムアウト

➡ 参考

このパラメータはシリアルポートおよび SSI 通信パラメータに属します。シリアルポートホストモードを直接使用する場合、完全な値と通信手順は、完全な PL5 モジュールマニュアルで確認する必要があります。

11.4 イメージングパラメータ

画像とビデオ

イメージャの設定

このセクションは、デコード、画像キャプチャ、ビデオビューファインダー、および画質に関連するイメージャパラメータの一般的なエントリポイントとして機能します。

作業モード

イメージャの動作モード、取得モード、または画像出力モードに関連するパラメータを受け入れるために使用されます。

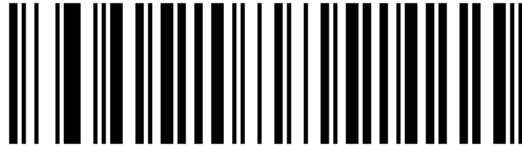
モバイル画面表示モード

携帯電話の画面や電子画面などの表示メディアに直面した場合の読み取り互換性を向上させるために使用されます。

- Disable、デフォルト値
- Enable



* 電話画面モードを無効にする



電話画面モードを有効にする

ビデオ解像度

行と列を削除してビデオデータサイズを小さくする代わりに、ビデオ送信前に解像度を下げるために使用されます。

オプション	価値	ビデオサイズ
Full Resolution	00h	752 x 480
1/2 Resolution	01h	376 x 240
1/4 Resolution	03h	188 x 120、デフォルト値



フル解像度



1/2 解像度



* 1/4 解像度

フレームレート

画像取得およびビデオ送信中のフレームレートを制御するために使用されます。多くの場合、フレームレートを低くすると画像が明るくなります。

現在、原文から次のオプションが確認されています。

- Auto、デフォルト値
- 60 fps
- 55 fps
- 50 fps

- 45 fps
- 40 fps
- 30 fps
- 20 fps
- 15 fps
- 10 fps



* 自動フレームレート



60 fps



55 fps



50 fps



45 fps



40 fps



30 fps



20 fps



15 fps



10 fps

注釈

フレームレートが 30 fps 以下の場合、照準パターンがちらつくように見える場合があります。

画像ファイルサイズセレクトター

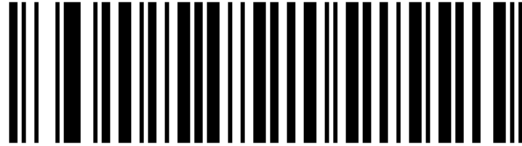
3 桁の値を入力して最大 JPEG ファイルサイズを制御する JPEG Size Selector での使用が確認されています。



BMP ファイル形式



*JPEG ファイル形式



TIFF ファイル形式

画像ファイルのメタデータ

JPEG イメージに EXIF 2.2 メタデータが伴うかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Image File Meta Data
- Disable Image File Meta Data、デフォルト値

有効にすると、次のフィールドに書き込むことができます。

- 電源投入後の時間
- センサーの種類
- デバイス名
- メーカー
- フレームレート
- ホストの種類
- 電源投入後の画像番号
- 画像補正パラメータ
- 画像鮮明化パラメータ
- 画像コントラスト強調パラメータ

この設定は、TIFF および BMP 形式には無効です。



画像ファイルのメタデータを有効にする

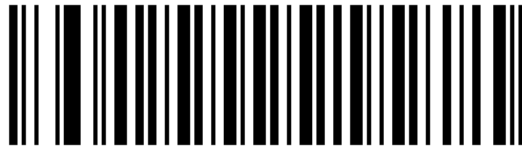


* 画像ファイルのメタデータを無効にする

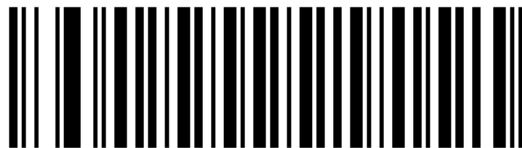
ビデオビューファインダー

ライブビデオビューファインダーをイメージモードで表示するかどうかを制御するために使用されます。

- Disable Video View Finder、デフォルト値
- Enable Video View Finder



* ビデオビューファインダーを無効にする



ビデオビューファインダーを有効にする

ビデオビューファインダーの画像サイズ

ビデオビューファインダーの画像サイズを設定するために使用され、入力単位は 100-byte block です。

- 値の範囲: 800 ～12,000 バイト
- デフォルト値: 1700 バイト

値が小さいほどフレームレートは高くなります。値が大きいほど高画質になります。



ビデオビューファインダーの画像サイズを設定する

ターゲットビデオフレームサイズ

1 秒あたりに送信されるビデオデータブロックサイズを設定するために使用されます。入力単位は 100-byte block です。

- 値の範囲: 800 ～20,000 バイト

- ・ デフォルト値: 2200 バイト

値が小さいほどフレームレートは高くなります。値が大きいほど高画質になります。



ターゲットビデオフレームサイズを設定する

照明と照準

照明

このセクションでは、デコードおよびキャプチャのシナリオにおける照明制御項目について説明します。

LED 照明

LED 光源がどのように有効、無効、または動作するかを説明するために使用されます。後で別のパラメータページにアクセスする場合は、このセクションでスイッチ値と明るさの関係を追加できます。

画像取得照明

スナップショットの撮影時に照明を有効にするかどうかを制御するために使用されます。

- ・ Enable Image Capture Illumination、デフォルト値
- ・ Disable Image Capture Illumination



* 画像取得照明を有効にする



画像取得照明を無効にする

通常、照明を有効にすると画像が向上しますが、ターゲットが遠ざかるほど補助光の効果は低くなります。

照明の明るさ

LED 電力を調整して照明の明るさを設定するために使用されます。

- ・ 値の範囲: 1 ～10
- ・ デフォルト値: 10

- ・ 設定方法: 最初に以下の設定コードをスキャンし、次に2桁のバーコードをスキャンして明るさの値を入力します

たとえば、明るさを6に設定する場合、最初に「照明の明るさ」設定コードをスキャンし、次に0と6を入力する必要があります。

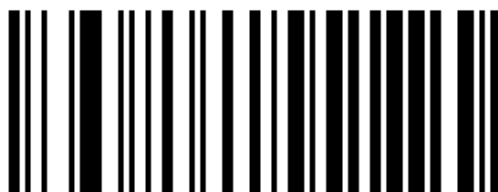


照明の明るさを設定する

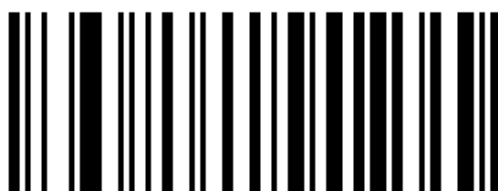
明るさを目指す

照準パターンの明るさを設定するために使用します。デフォルト値は0で、これは照準パターンが2つの露光間で点灯し続けることを意味します。値が0` `時、毎増加1、瞄准持続時間増加0.5ミリ秒より大きい場合。

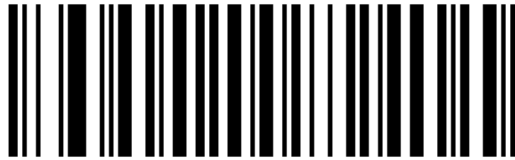
- ・ 値の範囲: 0 ~ 255
- ・ 推奨範囲: フレームレートが 60 fps の場合、0~30 の使用を推奨します
- ・ 設定方法: まず対応する設定コードをスキャンし、次に3桁のバーコードを入力します



スナップショットモード



ビデオモード



照準の明るさを設定する

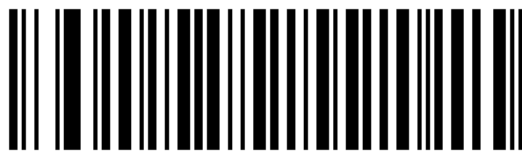
照準パターンをデコードする

デコード中に照準パターンを投影するかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Decode Aiming Pattern、デフォルト値
- Disable Decode Aiming Pattern



照準パターンのデコードを無効にする



* 照準パターンのデコードを有効にする

注釈

ピックリストモードが有効な場合、照準パターンの読み取りがオフになっていても照準パターンは点滅します。

スナップショット照準パターン

スナップショットモードで照準パターンを表示するかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Snapshot Aiming Pattern、デフォルト値
- Disable Snapshot Aiming Pattern



* スナップショット照準パターンを有効にする



スナップショット照準パターンを無効にする

スナップショットモードのタイムアウト

デバイスがスナップショットモードに留まる時間を設定するために使用されます。タイムアウトまたはトリガーイベントの後、デバイスはスナップショットモードを終了します。

- デフォルト値 0 は、30 秒を意味します
- その後 1 が増加するたびに、時間は 30 秒ずつ増加します。



スナップショットモードのタイムアウトを設定する

露出と明るさ

自動露出

デコードモードで自動露出と自動ゲインを有効にするかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Decoding Autoexposure、デフォルト値
- Disable Decoding Autoexposure



* デコード自動露出を有効にする



デコード自動露出を無効にする

オフにすると、ゲインと露光時間を手動で設定する必要があります。公式には、複雑な読書シナリオで上級ユーザーによる使用のみが推奨されています。

注釈

Presentation Mode でこのパラメーターを切り替えることはお勧めできません。

画像取得自動露出

スナップショットキャプチャモードで自動露出と自動ゲインを有効にするかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Image Capture Autoexposure、デフォルト値
- Disable Image Capture Autoexposure



* 画像取得の自動露出を有効にする



画像取得時の自動露出を無効にする

固定ゲイン

デコードまたは画像取得の自動露出がオフになった後、元の画像データを手動で拡大するために使用されます。ゲインを増加すると、明るさとコントラストが増加し、画像ノイズも増加する可能性があります。

- デフォルト値: 50
- 値の範囲: 1～100
- 入力方法: 下記の設定コードを読み取った後、3桁のバーコードを読み取ってください



固定ゲインを設定する

曝露時間

自動露出をオフにした後、露出時間を手動で指定するために使用します。デフォルト値は100、つまり10 msです。このパラメータは、自動露出オフシーンでの使用により適しています。

- 各整数値は100 usを表します
- デフォルト値: 100
- 値の範囲: 1～1000
- 入力方法: 下記の設定コードを読み取った後、4桁のバーコードを読み取ってください



露出時間を設定する

画像の明るさの目標白色値

スナップショットモードおよびビデオモードで自動露出アルゴリズムによって使用されるターゲットの白色値を設定するために使用されます。

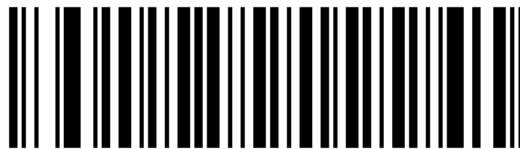
- デフォルト値: 180
- 入力方法: Image Brightness をスキャンし、3桁の数字を入力します。

このドキュメントでは、白を10進数の240として定義し、黒を10進数の1として定義しています。デフォルト値180は、画像を約180の白ビットにします。

ビット深度

画像をキャプチャするときの1ピクセルあたりの有効ビット数を設定するために使用されます。

- 1 BPP
- 4 BPP
- 8 BPP、デフォルト値



1 BPP



4 BPP



* 8 BPP

注釈

JPEG イメージは常に 8 BPP を使用し、このパラメーターの影響を受けません。

画像解像度

行と列を削除して画像データのサイズを小さくする代わりに、画像圧縮の前にキャプチャ解像度を下げるために使用されます。

オプション	価値	トリミングされていない画像サイズ
Full Resolution	00h	752 x 480
1/2 Resolution	01h	376 x 240
1/4 Resolution	03h	188 x 120



* フル解像度



1/2 解像度



1/4 解像度

画像の補正とトリミング

ファジー次元処理

わずかにぼやけていたり、エッジが不明瞭な一次元コードの読み取り能力を高めるために使用されます。

- Disable
- Enable、デフォルト値



ブラー 1D 処理を無効にする

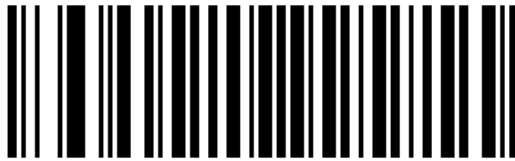


* ぼかした 1D 処理を有効にする

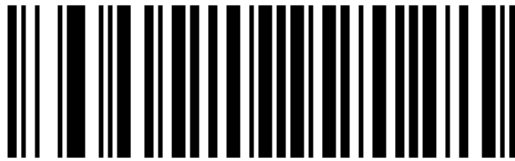
鏡像

出力イメージをミラーリングするかどうかを制御するために使用されます。

- Disable、デフォルト値
- Enable



* 画像ミラーリングを無効にする



画像ミラーリングを有効にする

画像補正

エッジの鮮明化とコントラストの強調を通じて、画像の外観と雰囲気向上させるために使用されます。

- Off (0)
- Low (1)、デフォルト値
- Medium (2)
- High (3)
- User (4)



画像強調無効 (0)



* 画像補正低 (1)



画像補正 (2)



画像強調高 (3)



画像補正ユーザーカスタマイズ (4)

User を選択した後、「画像エッジシャープニング」と「画像コントラスト強調」を個別に設定する必要もあります。

画像のコントラストの強調

「イメージ強化」が User に設定されている場合にのみ有効です。

- Disable
- Enable、デフォルト値



画像のコントラスト強調を無効にする

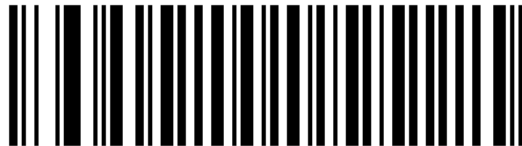


* 画像のコントラスト強調を有効にする

画像の回転

出力画像の回転角度を制御するために使用されます。

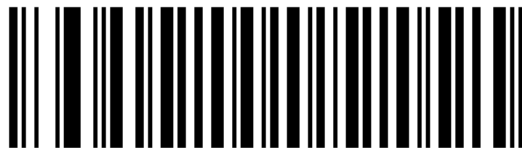
- Rotate 0°、デフォルト値
- Rotate 90°
- Rotate 180°
- Rotate 270°



* 0° 回転



90° 回転



180° 回転

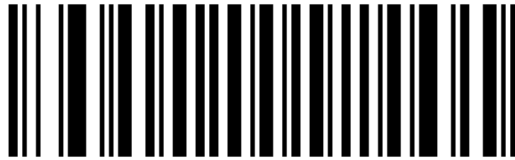


270° 回転

画像のエッジをシャープにする

「Image Enhancement」が User に設定されている場合にのみ有効になります。3 桁の数値を手動で入力することも、推奨値を直接使用することもできます。

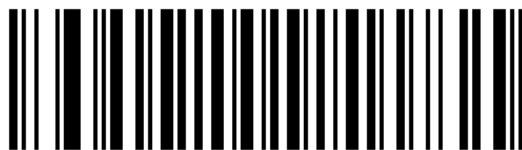
- Off (0)
- Low (30)、デフォルト値
- Medium (75)
- High (100)



画像エッジシャープ設定コード



シャープニングが無効 (0)



* シャープロー (30)



研ぎ (75)



シャープハイ (100)

画像のトリミング

スクリーンショットをトリミングするかどうかを制御するために使用されます。

- Enable Image Cropping
- Disable Image Cropping (デフォルト) は完全な 742 x 480 イメージを使用します

注釈

デバイスのクロップ解像度は 4 ピクセルです。トリミングサイズが 3 ピクセル未満に設定されている場合、実際には画像全体が転送されます。



画像のトリミングを有効にする



* 画像のトリミングを無効にする

ピクセルアドレスによるクロップ

画像のトリミングが有効な場合、トリミング領域をピクセル座標で設定できます。

- 列座標範囲: 0 ～751
- 行座標範囲: 0 ～479

たとえば、右下隅の 4 x 8 領域は次のように設定できます。

- Top = 476
- Bottom = 479
- Left = 744
- Right = 751

注釈

トリミングの最小粒度は 4 ピクセルで、4 の倍数以外は切り上げられます。

JPEG 画像オプション

JPEG イメージの品質を最適化するかサイズを最適化するかを選択できます。

- JPEG Quality Selector、デフォルト値
- JPEG Size Selector

JPEG 質量とサイズ

JPEG 質量値またはターゲットサイズ値を入力するには:

- JPEG Quality Value デフォルト値 065、範囲 5 ～100
- JPEG Size Value デフォルト値 160、範囲 5 ～350

ここで、JPEG Size Value は 1024 バイトの単位です。たとえば、008 は、最大約 8192 バイトを表します。

画像ファイル形式

スナップショットの保存形式を選択します。

- BMP File Format
- JPEG File Format、デフォルト値
- TIFF File Format

11.5 バーコード設定

一般的な指示

- ほとんどのバーコードパラメータは、設定コードをスキャンすることで有効になります。
- 長さ、冗長性、タイムアウトなどの数値パラメータは、通常、最初にエントリ設定コードをスキャンしてから、[数字設置码](#)をスキャンする必要があります。
- 入力プロセス中にエラーが発生した場合は、Cancel をスキャンして、現在の入力シーケンスをキャンセルします。

すべてのエンコーディングを無効にする

すべてのエンコーディングが無効になっています



すべてのエンコーディングが無効にする

UPC/EAN

UPC-A スイッチ



* UPC-A を有効にする



UPC-A を無効にする

UPC-E スイッチ



* UPC-E を有効にする



UPC-E を無効にする

UPC-E1 スイッチ



UPC-E1 を有効にする



* UPC-E1 を無効にする

EAN-8/JAN-8 スイッチ



* EAN-8/JAN-8 を有効にする



EAN-8/JAN-8 を無効にする

EAN-13/JAN-13 スイッチ



* EAN-13/JAN-13 を有効にする



EAN-13/JAN-13 を無効にする

ブックランド EAN スイッチ



* Bookland EAN を有効にする



Bookland EAN を無効にする

ブックランドの ISBN 形式

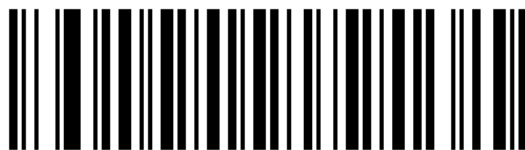


* ブックランド ISBN-10



Bookland ISBN-13

UPC/EAN/JAN 追加コード読み取りモード



追加コードを含む UPC/EAN/JAN のみを読み取ります



* 追加のコードを無視します



UPC/EAN/JAN アドオンコードを自動的に決定



378/379 アドオンコードモードを有効にする



978/979 アドオンコードモードを有効にする



977 アドオンコードモードを有効にする



414/419/434/439 アドオンコードモードを有効にする



491 追加モードを有効にする



スマート追加モードを有効にする

カスタムアドオンコードパターン



アドオンコードユーザープログラマブルタイプ1



ユーザーがプログラム可能なアドオンコードタイプ1および2



スマートなアドオンコード + ユーザーがプログラム可能1



スマートなアドオンコード + ユーザーがプログラム可能な1および2

カスタム拡張コードの種類



ユーザーがプログラム可能なアドオンコード 1



ユーザーがプログラム可能なアドオンコード 2

追加のコード冗長性



UPC/EAN/JAN アドオンコードの冗長化

追加コード伝送フォーマット



分離



* 組み合わせ



別送

UPC-A チェックディジットの送信

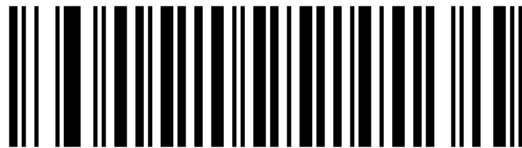


*UPC-A チェックディジットを送信します



UPC-A チェックディジットを送信しない

UPC-E チェックディジットの送信



*UPC-E チェックディジットを送信します



UPC-E チェックディジットを送信しない

UPC-E1 チェックディジットの送信



*UPC-E1 チェックディジットを送信します



UPC-E1 チェックディジットを送信しない

UPC-A プリアンブル



プリアンブルなし ()



* システム文字 ()



システム文字と国コード (< COUNTRY CODE>)

UPC-E プリアンブル



プリアンブルなし ()



* システム文字 ()



システム文字と国コード (< COUNTRY CODE>)

UPC-E1 プリアンブル



プリアンブルなし ()



* システム文字 ()



システム文字と国コード (< COUNTRY CODE>)

UPC-E が UPC-A に変換されました



UPC-E が UPC-A に変換されました (有効)

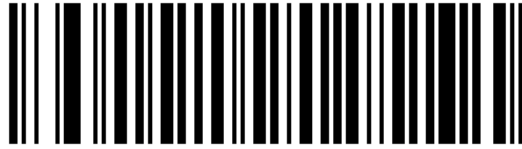


* UPC-E を UPC-A に変換しません (無効)

UPC-E1 を UPC-A に変換

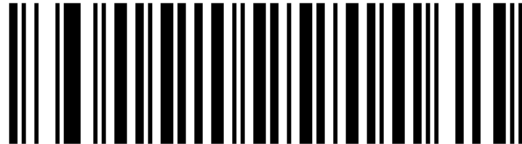


UPC-E1 を UPC-A に変換 (有効)

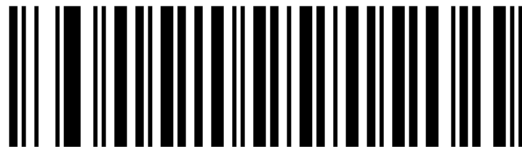


* UPC-E1 を UPC-A に変換しません (無効)

EAN/JAN ゼロ拡張



EAN/JAN ゼロ拡張を有効にする



* EAN/JAN ゼロ拡張を無効にする

UCC クーポン延長コード



UCC クーポン拡張コードを有効にする



* UCC クーポン拡張コードを無効にする

クーポンコードの形式



旧バージョンのクーポンコード

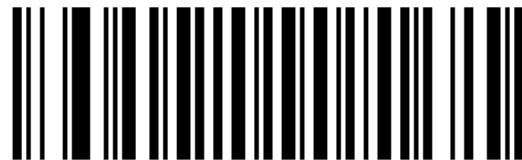


*新しいバージョンのクーポンコード



2つのクーポン形式

ISSN EAN スイッチ



ISSN EAN を有効にする



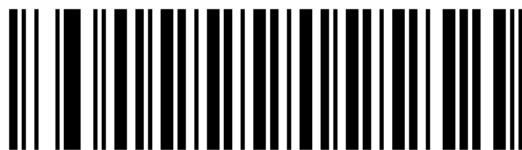
* ISSN EAN を無効にする

Code 128

Code 128 スイッチ



* Code 128 を有効にする



Code 128 を無効にする

Code 128 長さの設定



Code 128 - 単一の固定長



Code 128 - 2つの固定長



Code 128 - 長さの範囲



* Code 128 - 任意の長さ

GS1-128 スイッチ



* GS1-128 を有効にする

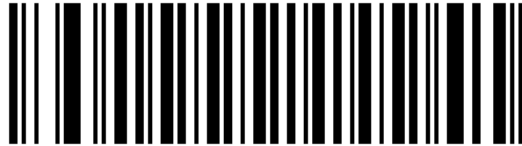


GS1-128 を無効にする

ISBT128 スイッチ

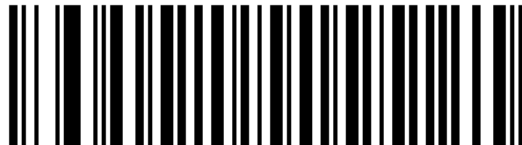


* ISBT 128 を有効にする



ISBT 128 を無効にする

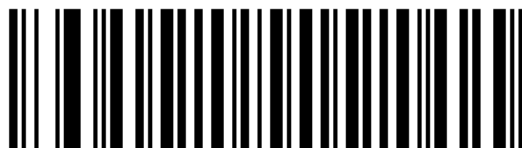
ISBT 接続モード



* ISBT 接続を無効にする



ISBT 接続を有効にする



ISBT 接続を自動的に識別する

ISBT テーブルの検証



* ISBT テーブル検証を有効にする



ISBT テーブル検証を無効にする

ISBT 接続の冗長化



ISBT 接続の冗長化

Code 39

Code 39 スイッチ



* Code 39 を有効にする



Code 39 を無効にする

トライオプティック Code 39 スイッチ



Trioptic Code 39 を有効にする



* Trioptic Code 39 を無効にする

Code 39 からコード 32

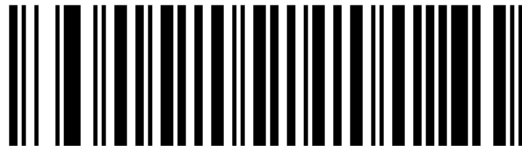


Code 39 をコード 32 に有効にする

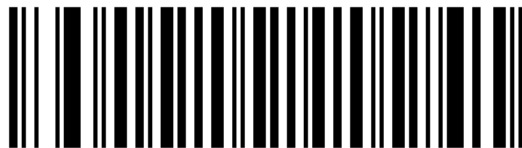


* コード 32 に対する Code 39 を無効にする

コード 32 プレフィックス



Code 32 プレフィックスを有効にする



* Code 32 プレフィックスを無効にする

Code 39 長さの設定



Code 39 - 単一の固定長



Code 39 - 2 つの固定長



* Code 39 - 長さの範囲



Code 39 - 任意の長さ

Code 39 チェックディジット



Code 39 チェックディジットを有効にする



* Code 39 チェックディジットを無効にする

Code 39 チェックディジットの送信



Code 39 チェックディジットの送信 (有効)

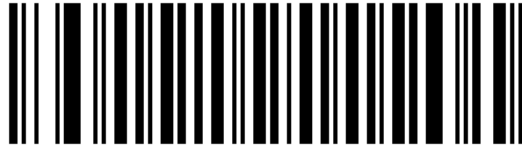


* Code 39 チェックディジットを送信しない (無効)

Code 39 Full ASCII

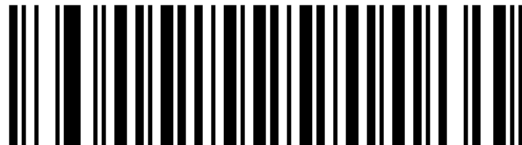


Code 39 Full ASCII を有効にする

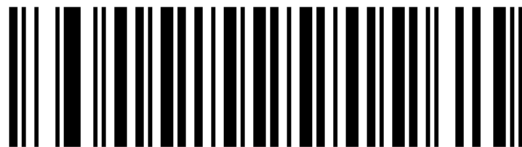


* Code 39 Full ASCII を無効にする

Code 39 バッファモード

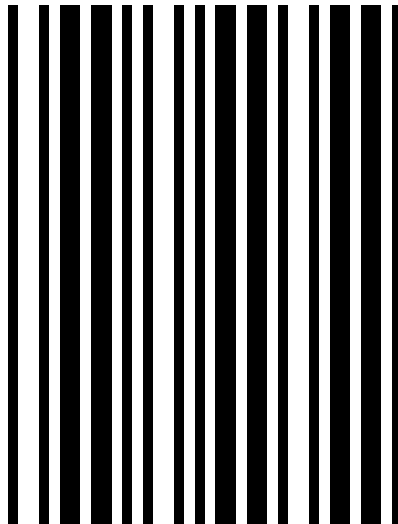


バッファ Code 39 (有効)

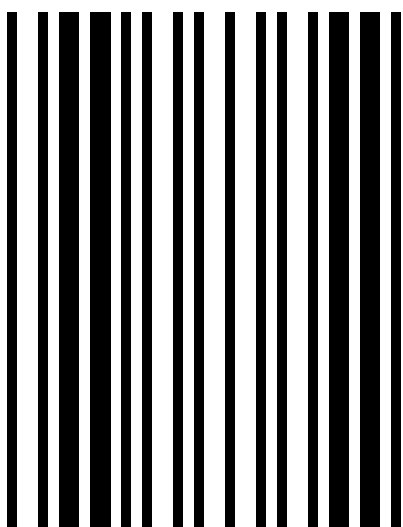


* Code 39 をバッファしない (無効)

Code 39 バッファ制御



バッファをクリアする



送信バッファ

Code 93

コード 93 スイッチ



コード 93 を有効にする



* コード 93 を無効にする

Code 93 の長さの設定



コード 93 - 単一の固定長



コード 93 - 2 つの固定長



* コード 93 - 長さの範囲



コード 93 - 任意の長さ

Code 11

コード 11 スイッチ



コード 11 を有効にする



* コード 11 を無効にする

コード 11 の長さ設定



コード 11 - 単一の固定長



コード 11 - 2つの固定長



* コード 11 - 長さの範囲



コード 11 - 任意の長さ

コード 11 チェックディジット番号



* 無効にする

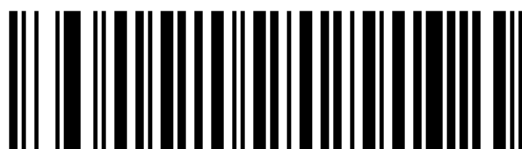


チェックディジット

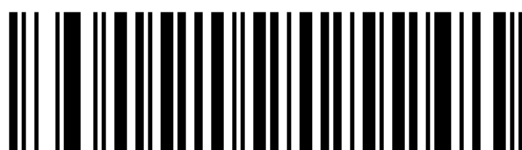


2つのチェックディジット

Code 11 チェックディジットの送信



コード 11 チェックディジットの送信 (有効)



* Code 11 チェックディジットを送信しない (無効)

Interleaved 2 of 5 (ITF)

インターリーブド 2 of 5 スイッチ



Interleaved 2 of 5 を有効にする



* Interleaved 2 of 5 を無効にする

Interleaved 2 of 5 の長さ設定



* I 2 of 5 - 単一の固定長



I 2 of 5 - 2 つの固定長



I 2 of 5 - 長さの範囲



I 2/5 - 任意の長さ

Interleaved 2 of 5 検証方法



* 無効にする

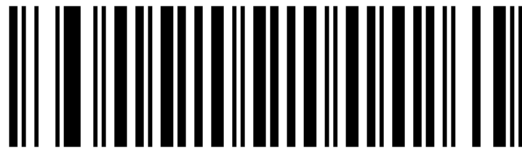


USS チェックディジット



OPCC チェックディジット

インターリーブ 2 of 5 チェックデジット送信



I 2 of 5 パリティ桁の送信 (有効)



* I 2 of 5 チェックデジットを送信しない (無効)

インターリーブド 2 of 5 から EAN-13



I 2 of 5 は EAN-13 に変換されます (有効)



* I 2 of 5 を EAN-13 に変換しません (無効)

Discrete 2 of 5 (DTF)

ディスクリート 2 of 5 スイッチ



Discrete 2 of 5 を有効にする



* Discrete 2 of 5 を無効にする

ディスクリット 2 of 5 の長さ設定



* D 2 of 5 - 単一の固定長



D 2/5 - 2つの固定長



D 2/5 - 長さの範囲



D 2/5 - 任意の長さ

Codabar (NW-7)

コーダバースイッチ



Codabar を有効にする



* Codabar を無効にする

コーダバーの長さの設定



Codabar - 単一の固定長



Codabar - 2つの固定長



* Codabar - 長さの範囲



Codabar - 任意の長さ

CLSI 編集者



CLSI 編集を有効にする



* CLSI 編集を無効にする

通知編集



NOTIS 編集を有効にする



* NOTIS 編集を無効にする

開始文字/終了文字の大文字と小文字



小文字



* 大文字

MSI

MSI スイッチ



MSI を有効にする



* MSI を無効にする

MSI の長さの設定



MSI - 単一の固定長



MSI - 2つの固定長



* MSI - 長さの範囲

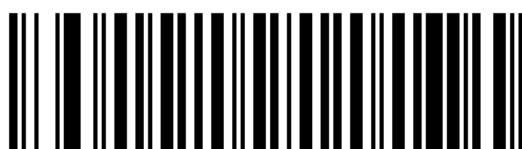


MSI - 任意の長さ

MSI チェックディジット番号

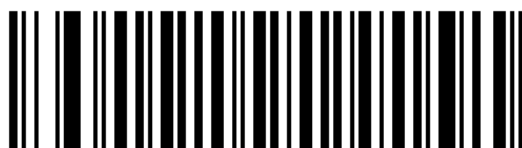


* MSI チェックディジット



2つの MSI チェックディジット

MSI チェックデジット送信



MSI チェックデジットの送信 (有効)



* MSI チェックデジットを送信しない (無効)

Chinese 2 of 5

中国語 2 of 5 チェックアルゴリズム



MOD 10/MOD 11



* MOD 10/MOD 10

中国の 2/5 スイッチ



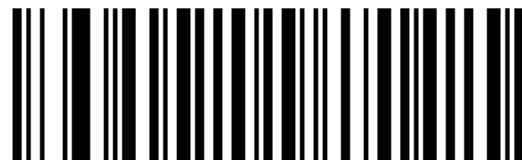
中国語 2/5 を有効にする



* 障害のある中国語 2/5

Matrix 2 of 5

マトリックス 2/5 スイッチ



マトリックス 2/5 を有効にする



* マトリックス 2/5 を無効にする

マトリックス 2/5 の長さ設定



* 行列 2/5 - 単一の固定長



マトリックス 2/5 - 2 つの固定長



マトリックス 2/5 - 長さの範囲



マトリックス 2/5 - 任意の長さ

マトリックス 2/5 チェックデジット

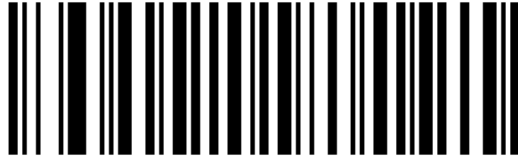


マトリックス 2/5 チェックディジットを有効にする

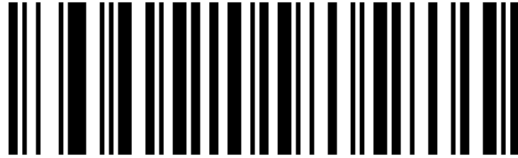


* 5 チェックディジットの行列 2 を無効にする

マトリックス 2/5 チェックデジットの送信



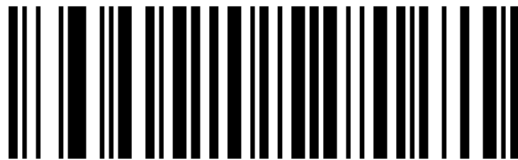
マトリックス 2/5 チェックディジットを送信



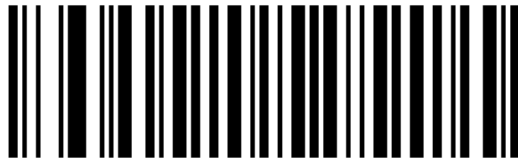
* 5 チェックディジットの行列 2 を送信しないでください

Korean 3 of 5

韓国語 3/5 スイッチ



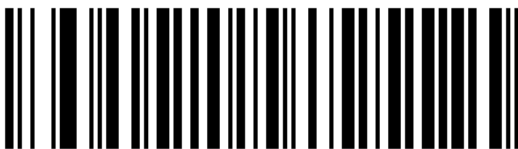
韓国語 3/5 を有効にする



* 障害のある韓国語 3/5

反転カラー 1 次元コード

逆色読み取りモード



* 一般的な



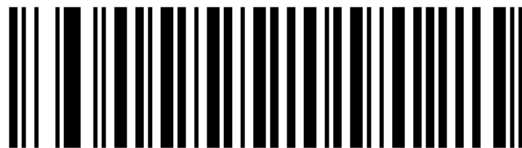
色のみを反転



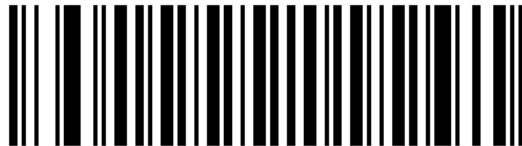
反転色の自動検出

郵便番号

米国ポストネットスイッチ



米国ポストネットを有効にする



* US Postnet を無効にする

US プラネットスイッチ



US プラネットを有効にする



* 米国の惑星を無効にする

米国の郵便チェックディジットの送信



米国郵便のチェックディジットが送信されない

英国郵便スイッチ



英国郵便を有効にする



* 英国郵便を無効にする

英国の郵便チェックディジットの送信



* 英国郵便チェックディジットを送信する



英国郵便のチェックデジットを送信しないでください

日本郵便スイッチ



日本郵便を有効にする



* 日本郵便を無効にする

オーストラリア郵便局のスイッチ

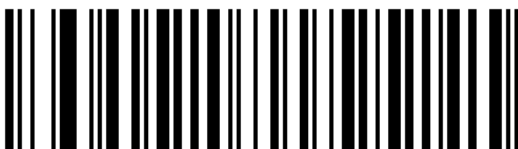


オーストラリア郵便を有効にする

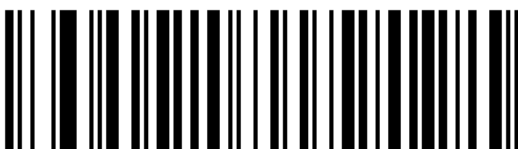


* オーストラリア郵便を無効にする

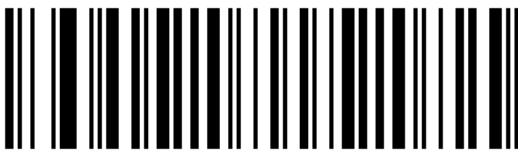
オーストラリアの郵便フォーマット



* 自動識別



オリジナルフォーマット



英数字エンコーディング



デジタルエンコーディング

オランダ KIX コードスイッチ



オランダの KIX コードを有効にする



* オランダの KIX コードを無効にする

USPS 4CB/ワンコード/インテリジェントメールスイッチ



USPS 4CB/ワンコード/インテリジェントメールを有効にする



* USPS 4CB/ワンコード/インテリジェントメールを無効にする

UPU FICS 郵便交換局



UPU FICS 郵便を有効にする



* UPU FICS 郵便を無効にする

GS1 DataBar

GS1 データバースイッチ



* GS1 データバーを有効にする



GS1 データバーを無効にする

GS1 DataBar 限定スイッチ



GS1 DataBar 限定を有効にする



* GS1 DataBar Limited を無効にする

GS1 DataBar 限定セキュリティレベル



セキュリティレベル 1



セキュリティレベル 2

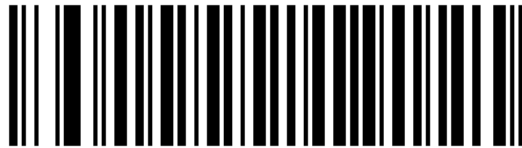


* セキュリティレベル 3



セキュリティレベル 4

GS1 DataBar 拡張スイッチ



* GS1 データバーの展開を有効にする



GS1 データバー展開を無効にする

GS1 データバーから UPC/EAN へ



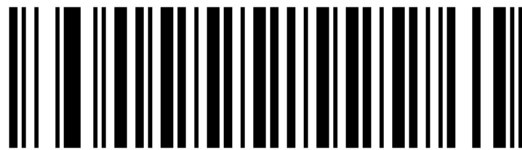
GS1 データバーを UPC/EAN に有効にする



* UPC/EAN への GS1 データバーを無効にする

複合複合コード

CC-C スイッチ



* CC-C を無効にする

CC-A/B スイッチ



* CC-A/B を無効にする

TLC39 スイッチ



TLC39 を有効にする



* TLC39 を無効にする

複合コードのビーブ音プロンプト



すべてのデコード後にビーブ音が1回鳴ります

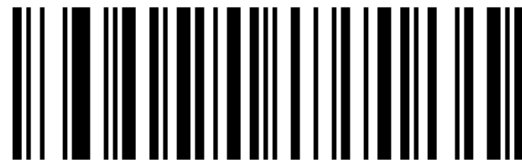


* コードシステムがデコードされるたびにブザーを1回鳴らします



すべてのデコード後にビープ音が2回鳴ります

UCC/EAN 複合コード **GS1-128** シミュレーション



UCC/EAN 複合コードの GS1-128 エミュレーションモードを有効にする



* UCC/EAN 複合コードの GS1-128 エミュレーションモードを無効にします

QR コード

PDF417 スイッチ



* PDF417 を有効にする



PDF417 を無効にする

MicroPDF417 スイッチ



MicroPDF417 を有効にする

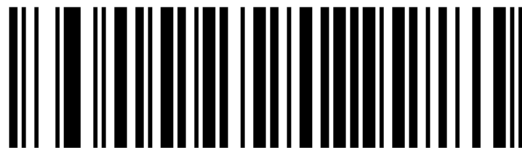


* MicroPDF417 を無効にする

MicroPDF417 Code 128 シミュレーション



Code 128 エミュレーションを有効にする



* Code 128 エミュレーションを無効にする

Data Matrix スイッチ

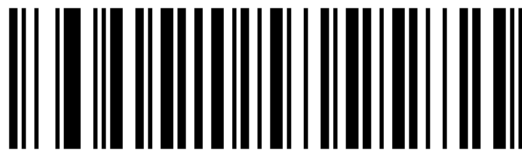


* Data Matrix を有効にする



Data Matrix を無効にする

Data Matrix 逆色読み取り



* 一般的な



色のみを反転



反転色の自動検出

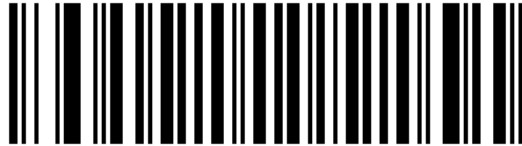
Data Matrix ミラー読み取り



一度もない

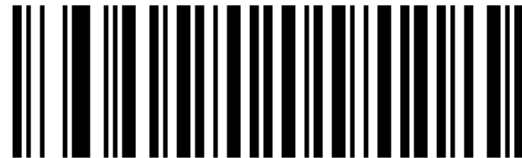


いつも



* 自動

マキシコードスイッチ



マキシコードを有効にする



* Maxicode を無効にする

QR Code スイッチ

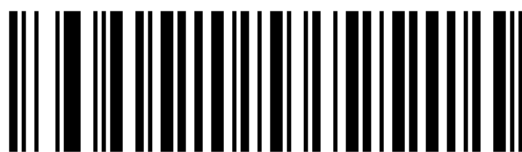


* QR Code を有効にする



QR Code を無効にする

QR Code 逆色読み取り



* 一般的な



色のみを反転



反転色の自動検出

MicroQR スイッチ



* MicroQR を有効にする



MicroQR を無効にする

アステカスイッチ



* アステカを有効にする

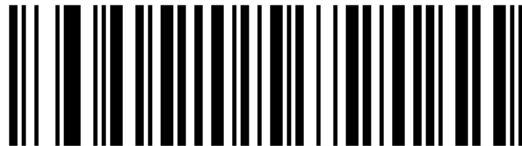


アステカを無効にする

アステカの逆カラー読み取り



従来の



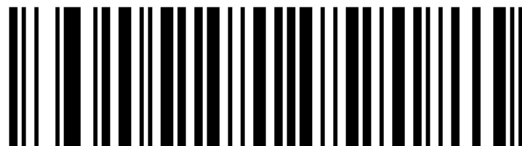
色のみを反転



* 反転色を自動的に検出します

冗長性レベル

冗長性レベル



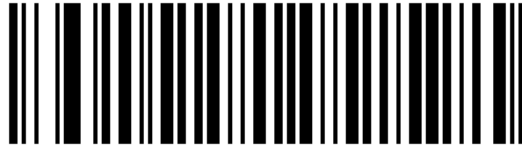
* 冗長性レベル 1



冗長性レベル 2



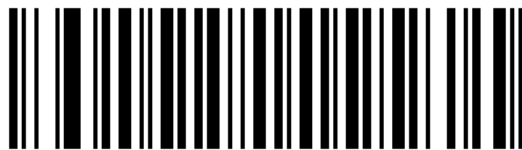
冗長性レベル 3



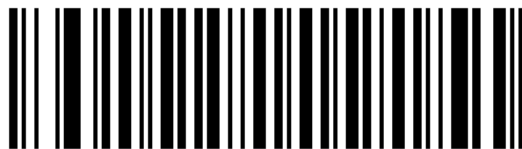
冗長性レベル 4

セキュリティレベル

セキュリティレベル



セキュリティレベル 0



*セキュリティレベル 1



セキュリティレベル 2

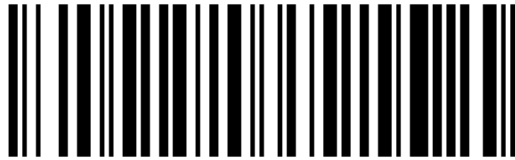


セキュリティレベル 3

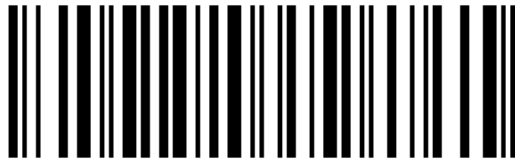
文字ギャップサイズ

文字ギャップサイズ

Code 39 および Codabar コードシステムの文字ギャップ許容値を調整するために使用されます。バーコード印刷により文字ギャップが標準範囲を超える場合は、より大きな文字ギャップを選択してエラー耐性を向上させることができます。



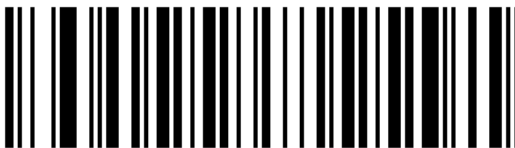
* 通常の文字ギャップ



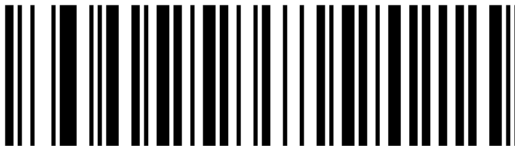
キャラのギャップが大きい

マクロ PDF の機能

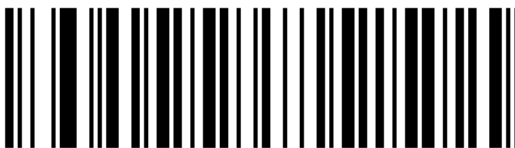
マクロ PDF 転送/デコードモード



すべてのシンボルをバッファリング / 完了したらマクロ PDF を転送



セット内の任意のシンボルを順不同で送信します



* すべてのシンボルを透過的に送信します

マクロ PDF 制御ヘッダーとエスケープ文字



マクロ PDF コントロールヘッダー送信を有効にする



* マクロ PDF コントロールヘッダーの送信を無効にする



GLI プロトコル



* なし

マクロ PDF バッファ制御



マクロ PDF バッファをクリア



マクロ PDF インポートを中止する

11.6 エンジンキャラクターテーブル

接尾辞、接尾辞および文字値の表

プレフィックス/サフィックス値テーブル

確認された主なポイントは次のとおりです。

- Prefix/Suffix Values 4 桁で設定
- 番号 1 はボタンカテゴリです
- 最後の 3 桁は 10 進数の文字値です

- ・ 詳細な値のテーブルは Table E-1 にあります。

いくつかの端末のデフォルトパラメータのうち、サフィックスとサフィックスの一般的なデフォルト値は次のとおりです。

- ・ STX (1002)
- ・ CR (1013)
- ・ ETX (1003)

FN1 置換値テーブル

EAN-128 の FN1 の置換値を設定するために使用されます。

確認されたルールは以下の通りです。

- ・ デフォルト値: 7013、つまり Enter

セットアップ手順:

1. Set FN1 Substitution Value をスキャン
2. 現在のホストインターフェイスの ASCII 文字テーブルでターゲットキーの値を見つけます。
3. 対応する 4 桁の値を入力してください

ホストコマンドで設定する場合は、まず Key Category を 1 に設定し、次に 3 桁のキー値を設定します。

11.7 エンジンセッティングコード

参考設定コード

デジタル設定コード

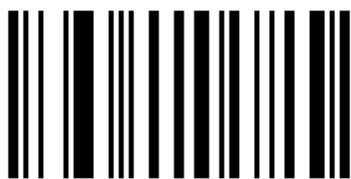
長さ、タイムアウト、明るさ、アドレスなどの数値パラメータを入力するために使用されます。このセクションでは、0 から 9 までのデジタル設定コードを示します。



数字の 0



ナンバー 1



番号 2



番号 3



4 番



5 番



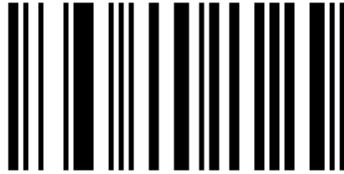
6 番



7 番



8 番



9 番

入力をキャンセルする

値を設定するときに、現在の入力を取り消して最初からやり直すために使用します。



入力をキャンセルする

12 付録

12.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	1s Delay
6CH	l	7CH		8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

 注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。